

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 ..... 御言葉に耳を傾け、心を主に向けましょう。
- \*賛美 ..... 53番
- \*交読文 ..... 9番
- \*使徒信条 ..... 会衆一同
- \*頌栄 ..... 174番
- 礼拝のための祈り ..... 川合ゆきえ姉妹
- 賛美 ..... 456番
- メッセージ ..... アブラム - 主と共に歩む人(創世記 12:1-9)
- 御言葉を適用する祈り .. 会衆一同
- 賛美 ..... 500番
- 献金感謝の祈り ..... パスター
- 報告と歓迎 .....
- \*主の祈り ..... 会衆一同
- \*祝祷 ..... パスター

祈禱課題

- ・この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- ・病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- ・兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- ・主に忠実で御霊に満ちた奉仕者が70名与えられるように
- ・終末の災いに実際に直面している兄弟姉妹の守りのために

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

\_\_\_\_\_が召されたその召しにふさわしく歩き、できる限り謙虚で、かつ柔和であり、寛容を示し、愛をもって互に忍びあい、平和のきずなで結ばれて、聖霊による一致を守り続けるように努めなさい。

こうして、\_\_\_\_\_は、神に愛されている子供として、神にならう者になりなさい。また愛のうちに歩きなさい。キリストもあなたがたを愛して下さい、\_\_\_\_\_のために、ご自身を、神へのかんばしいかおりのささげ物、また、いけにえとしてささげられたのである。\_\_\_\_\_は、以前はやみであったが、今は主にあつて光となっている。光の子らしく歩きなさい。(エペソ 4:1-3、5:1-2,8)

わたしは命じる、御霊によって歩きなさい。そうすれば、決して肉の欲を満たすことはない。(ガラテヤ 5:16)

アブラム、後のアブラハムは、聖書の中の最重要人物の一人であり、彼は、肉においてはイスラエル民族・アラブ民族の父であり、霊的には、信仰によって救われる全ての人の父であり、信仰の父と呼ばれている。アブラムの名は「父が高められる」という意味であり、後の名、アブラハムは「多くの国民の父」の意味である。今回から、アブラムと、彼をとりまく周囲の人物とに焦点を当てて見て行きたい。

『あなたは国を出て、親族に別れ、父の家を離れ、わたしが示す地に行きなさい。わたしはあなたを大いなる国民とし、あなたを祝福し、あなたの名を大きくしよう。あなたは祝福の基となるであろう』(創世記 12:1-2) 主は、アブラムを「祝福」すると仰せられた。この1-3節に、祝福という言葉が5回も出てくる。祝福には条件がある。すなわち、まず父の家を「出る(ハーフ)」事、そして、主が示す地へと行く事だ。この「(ハーフ:歩む、歩き回る)」という語は今回の箇所(1-9節)だけで5回用いられている。(1,4,5,9節)アブラム、すなわちアブラハムの人生について回る重要なキーワードは、「祝福」と「ハーフ」である。

神と共に「歩む(ハーフ)」、それは神の民の必須条件であり、祝福に必要な不可欠な行動である。アダム系図の中で、エノクとノアの二人は「神と共に歩んだ(ハーフ)」と記されており(創世記 5:22-24、6:9)、アダム系図の中で、特に際立った信仰の持ち主であるこの二人に、共通した性質である。主はエデンの園を「歩き回られた(ハーフ)」(創世記 3:8)。私達も、主と共に歩きまわるなら、そこはエデン(「歓喜の場所」という意味)であり、たとい死の陰の谷を「歩む」としても、主と共に歩んでいるなら、そこには慰めがあり、敵の前で宴を設けられ、杯は溢れ、恵みといつくしみが追って来るのだ。(詩篇 23編)そして、アブラムに「アブラハム」という新しい名が与えられる時も、主は「ハーフ」を命じている。「わたしは全能の神である。あなたはわたしの前に「歩み」、全き者であれ。」(創世記 17:1)アブラムが身勝手に自分の考え・自分の力で奴隷女ハガルとの間に子供イシュマエルをもうけた後、13年もの間、霊的空白期間が続いてしまったが(創世記 16:16-17:1)、いよいよアブラムの肉の力が尽き、生殖機能はもう死んだも同然の99歳の時、主が特に強調して命じられた事が、(自主的に)主の前に歩む事、全き者となる事だった。ここの「歩み」なさいという要求には、ヘブル語の強意形ヒットパエル態(再帰態)が使われており、すなわち、自ら、主体的に、自覚的に、自発的に「歩みなさい」、と命じられているわけである。私達も、自ら、主体的に、自覚的に、自発的に、主と共に歩もうとする事こそ、重要である。「あなたはわたしの前に「歩み」、全き者であれ。」私達も、自発的に主と共に歩むなら、「全き者」となる。その「全き者」とは、道徳基準における完全さの事ではない。私達は罪があり、義において完全な者など、一人もいないが、アブラハムのように、ただ信仰によって、神と共に歩む事によってのみ、「全き者」となる事が出来るのである。頑張っって良い子になるよりも、神と共に歩む事こそ、主が望んでおられる事なのだ。『だから、信仰による者こそアブラハムの子であることを、知るべきである。…このように、信仰による者は、信仰の人アブラハムと共に、祝福を受けるのである。…律法によっては、神のみまえに義とされる者はひとりもないことが、明らかである。なぜなら、「信仰による義人は生きる」からである。』(ガラテヤ 3:7-11)

『アブラムは主が言われたように「いで立った」。ロトも彼と共にいった。アブラムはハランを「出た」時七十五歳であった。アブラムは妻サライと、弟の子ロトと、集めたすべての財産と、ハランで獲た人々とを携えてカナンに行こうとして「いで立ち」、カナンの地にきた。』(4-5節、「内」がハーフ。)アブラムの信仰のはじめの歩みは、神と共に「歩む」事の連続だった。失敗も当然あったが、彼は神と共に歩む道から離れなかった。それに対し、彼の父テラは、共に歩む事を途中で止めてしまった。「テラは…カナンの地へ「行こうと(ハーフ)」カルデヤのウルを出たが、ハランに着いてそこに住んだ。」(創世記 11:31) 神と共に歩む事を止めてしまうと、その人にとっての「永遠の時」はそこでストップしてしまう。しかし、神と共に歩むなら、その人は永遠に生きるのだ。(黙示録 21:3)アブラハムのように主と共に歩み、主の前に全き者となり、主と共に永遠に生きる皆さんでありますように！

# 横浜天声キリスト教会

## 礼拝 週報

### 集会案内

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → <http://ustre.am/Ydeh> (Yは大文字)

#### 日曜礼拝

1部礼拝	10:30
食事/フェローシップ	12:00～
2部礼拝(韓国語通訳有)	14:00
聖書の学び会(詩篇)	15:00

金曜徹夜祈祷会 21:00～

#### 日々の集会

月～金	早天祈祷会	5:00～
火・木・金	賛美と祈りの集会	13:00～
火～木	夜の祈祷会	19:30～

#### 水曜集会

1部	13:00～
2部	19:30～

### アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅  
6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分  
JR・関内駅より徒歩10分  
京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、  
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、  
1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で  
聖書メッセージをメールで  
毎日携帯にお届けします。  
左記コードを読み込み、  
空メールを送信するだけ！



〒231-0058

パスター: 林和也

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストックタワー大通公園I-201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voh.plala.jp/>

email: [ephes\\_03-tensei@yahoo.co.jp](mailto:ephes_03-tensei@yahoo.co.jp)



モバイルサイト

